



総務省ドリームスクール懇談会

小規模校集合体バーチャルクラスルーム（クラウド遠隔授業システム）

隠岐國学習センター大辻雄介



1. 自己紹介
2. 遠隔授業の意義
3. 小規模校の課題
4. アイデア提案
5. 海士町から全国へ



隠岐國学習センター 副長 大辻雄介



{ 研伸館予備校 大学受験数学 講師
FLASHアニメーションを自作して黒板に投影授業



{ 栄光エクトス 中学受験算数 講師
栄光エクトス池袋校 教室長
アニメーションを用いた映像講義 事業開発



{ 遠隔授業サービス開発
過疎地遠隔授業配信 (南会津プロジェクト)
新規事業開発「進研ゼミEVERES」教務開発主任
新規事業開発「進研ゼミライブ授業」開発

電子黒板授業DVD講師
インターネット録画授業配信講師

隠岐國学習センター

{ 公立塾 副長
離島をつなぐ遠隔授業 (島前三島+兵庫県沼島)
高校受験数学指導
海士町立海士中学校TA
大学受験数学指導

島前高校魅力化プロジェクト ICTディレクター

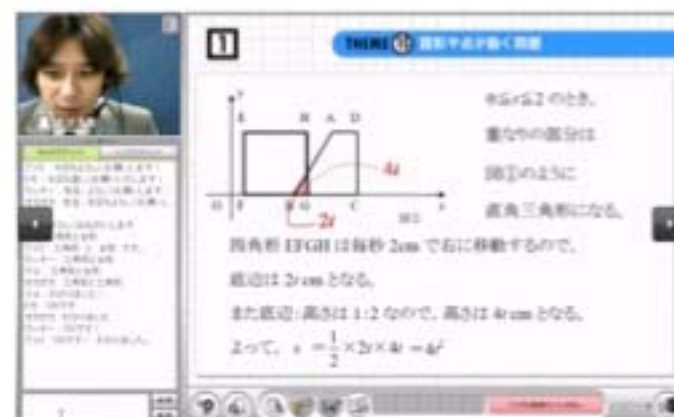


遠隔授業のメリット・デメリット

遠隔授業はメリットもあるが、接続環境や機器類の問題などまだまだ改善の余地がある。しかし「対面である旧来の教室では実現出来ないことをICTの力で解決することが可能。

◎メリット

遠く離れていても「人」に
教えてもらうことができる。
(病院からしか受講できない
・過疎地で教科が不足している...)



一般的な遠隔授業配信システムの受講画面

●デメリット

インターネット接続機器・パソコンやスマホなどのデバイスが必要。
事前準備に時間がかかる。
対面指導や教室と比較して聞き取りづらい（今後改善していくが）。
生徒の体調など機微がわかりづらい。
コミュニケーションが難しい。



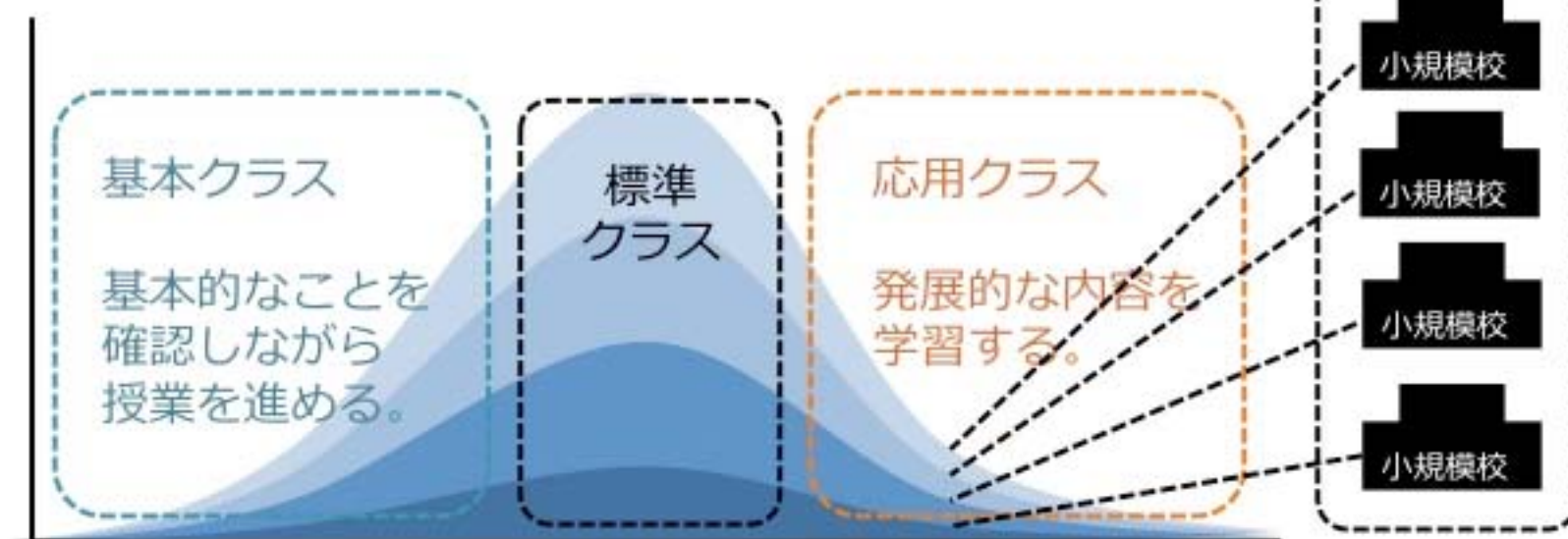
遠隔授業を複数校同時配信することによるのメリット

◎さらなる大きなメリット

複数の小規模校に同時配信することで

- 1) 硬質化したコミュニティに刺激を与えられる。
- 2) 習熟度別に授業を実施することが可能になる。

人数

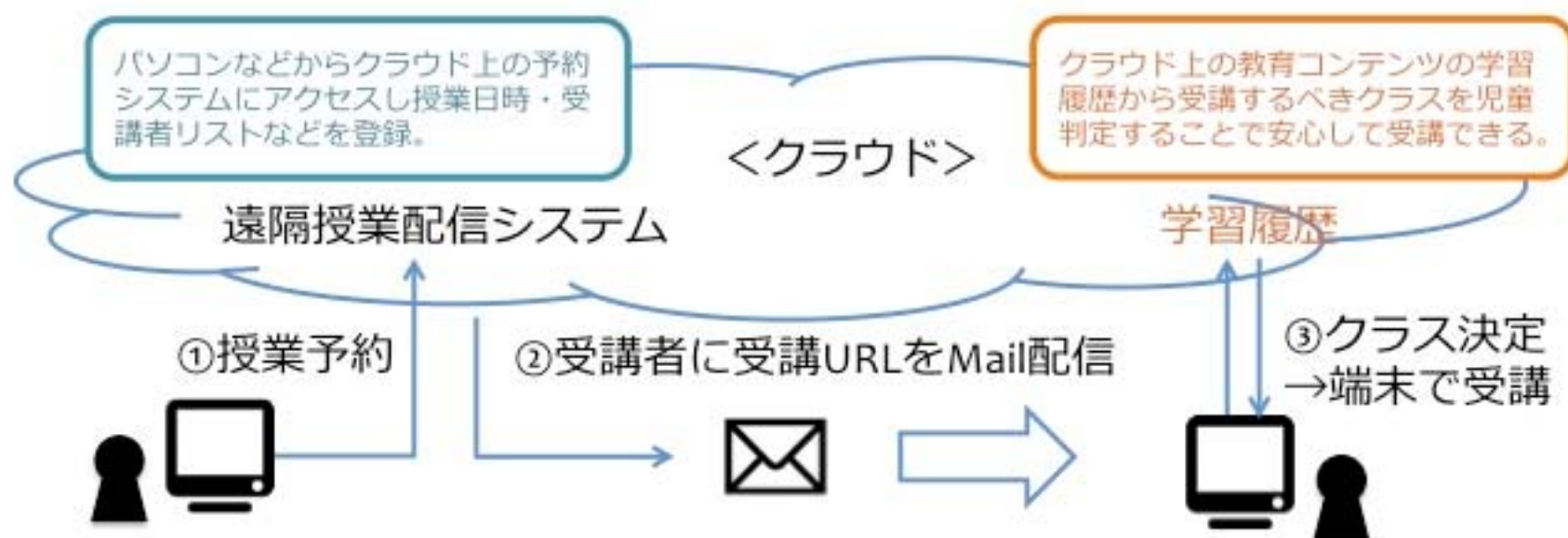


成績分布

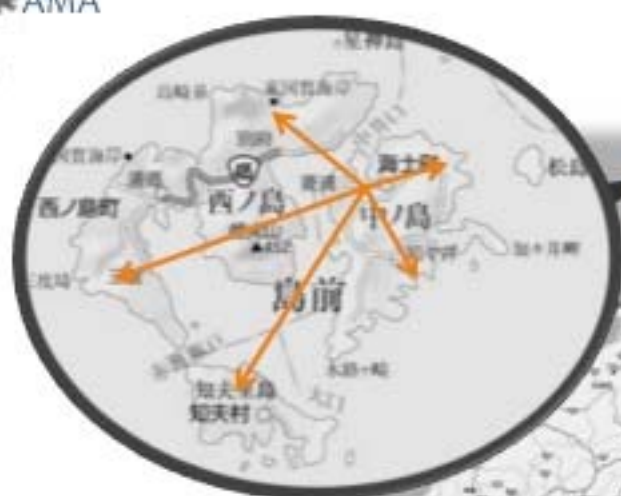


【小規模校集合体バーチャルクラスルーム】

講師を複数確保するために全国どこからでも遠隔授業を配信できるシステムを実装



- ・クラウド上にシステムがあることで講師がどこからでも授業を予約することができ、生徒がどこからでも受講することができる。
- ・クラウド上の学習履歴を参考にすることで自分の力にあった授業を受講することができる。
- ・院内学級の生徒や離島中山間の子どもたちが全国のみんなと一緒に授業を受けることができる。



毎週水曜日【英語】

19:30-19:55

英語 LEVEL1

20:00-20:25

英語 LEVEL2

20:30-20:55

英語 LEVEL3

毎週土曜日【数学】

13:30-13:55

数学 LEVEL1

14:00-14:25

数学 LEVEL2

14:30-14:55

数学 LEVEL3

島前地域3中学+兵庫県沼島の中学3年生に毎週配信中。
この動きを全国に拡大したいと考えています。

サマリ【小規模校集合体バーチャルクラスルーム（クラウド遠隔授業システム）】

提案者名

島前ふるさと魅力化財団 公営塾 隠岐國学習センター

提案内容

小規模校集合体バーチャルクラスルーム

離島中山間ネットワークをつくるクラウド遠隔授業システム

離島中山間地域にある小規模校は生徒数が少く、また教員も少ないため習熟度授業を行うことが難しい。複数の小規模校に通う生徒たちをクラウド上のバーチャルクラス（遠隔授業）に集め習熟度別の授業を実施することで、学習効果を高める。さらにマンネリ化している生徒コミュニティに適度に揺さぶりを与え学習環境の刺激にもなる。またバーチャルクラスのため一般的な塾とは異なり教科毎・単元毎の習熟度別が可能となる。

